

学校評価アンケート結果報告

平成 22 年 9 月
大阪高等学校

本校では、よりよい学校づくりを目指して改革を続けていますが、更なる教育の環境整備と質的向上、ひいては教育成果の向上のために新たな課題形成を図るべく、保護者の皆様、在籍生、教職員を評価者とする学校評価アンケートを実施しました。保護者の皆様には特にご協力いただき、94%を超える回収率となりました。

この度、集計結果に分析を加え、学校としての改革指針をお伝えすべく本書面をまとめました。本校が目指す学校像をご理解いただくとともに、今後の益々のご協力を賜りたく、是非ともご高覧くださいますようお願い申し上げます。

なお、今回の結果を踏まえた改善の成果検証のため、年度内に第二回の学校評価を実施予定です。

学校長 岡本 博

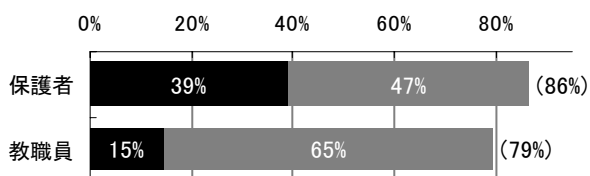
凡例と集計方法について

凡例：■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う

集計結果は、特に断りがない場合、「わからない」を除いた有効回答を分母とした百分率で表示しています。回答を留保されたのは学校側の情報提供と説明が不足したためと反省し、次回に向けて、十分にご判断いただけるよう情報の充実に努めて参ります。

本校選択を 8 割超が肯定

Q お子様を大阪高校へ入学させてよかった(知り合いや親戚にもこの学校を勧めたい)と思われませんか。



『本校を進学先を選んで正解であった』とのご回答は、教職員が一丸となって提供してきた教育と環境への満足度を直截的に示す最も重要な指標の一つであると考えます。

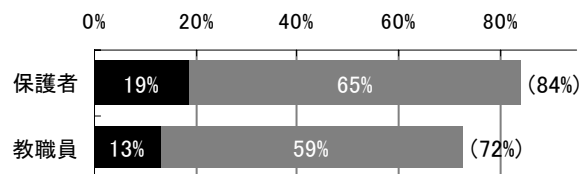
保護者の 86%が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を選択していただきました。後者の但し書き付きの肯定は今後の更なる改善を期待するとのお声と受け止めております。今回のアンケートを通して検知された様々な課題の解決を通し、積極的に「そう思う」をご選択いただけるよう取り組んで参ります。

まずは、学校が実現を目指している教育像を今まで以上にしっかりとお伝えするとともに、実現に向けた歩みを保護者の皆様にも滞りなく示していくことを当面の優先課題の一つとして位置づけました。

また、教職員による自己評価は、保護者の皆様からの回答を下回る結果でした。教育提供側としての問題意識、現況を肯定しない姿勢の現れとご理解いただきたく存じます。今後の改善行動にご期待ください。

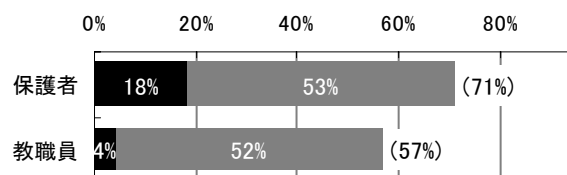
教育課程、学習/進路指導

Q 様々な進路希望に対応できるよう、教育課程(選択科目など)や教材は適切に整備されていると思われませんか。



教育課程については、肯定回答が 84%と一定の評価を頂戴しました。しかしながら、不安定な社会情勢や進路希望の多様化などを背景に、まだまだ対応が十分でない部分があるようです。進路希望調査の結果を精査し、ニーズと現状との差分を把握した上で中核となるカリキュラムの整備を進めます。また多様化への対応として、卒業生の声なども参考に、個のニーズを如何に満たすか、教員間で検討を進めていこうと思いません。

Q 学習指導は充実しており、学力向上に十分な成果を挙げていると思われませんか。

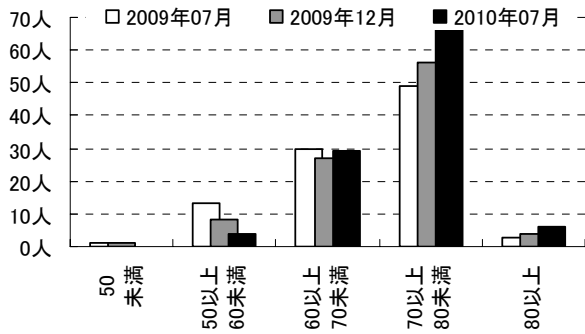


保護者の皆様から大変に厳しい評価を頂きました。別項の質問でも、今後の更なる充実を求める項目として『学習指導や学力向上』を 7 割近い方が選択されており、学校としての最優先課題、すなわち校内資源を集中して投資すべき領域との認識を新たにしました。

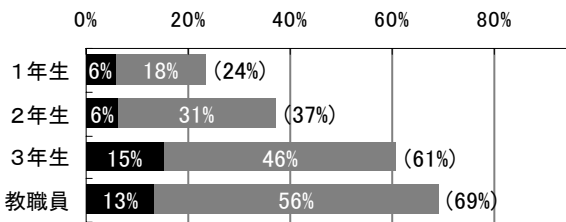
教員側の認識も合致しており、他校に先駆けて導入した「生徒による授業評価アンケート」と外部有識者による分析講評、教科単位で積極的に実施している授

業研究などを軸に、授業改善に取り組んでいます。

下のグラフは、授業評価の一項目『学習目標の明示と達成手段の周知』（この充実は、学習者に達成感を原資とするモチベーション向上に寄与することが、外部専門機関の調査で判っています）における改善状況を示したものです。日々の教材研究や入試分析による学力観の更新・深化により改善が進んでいます。



Q 進路指導が充実しており、生徒の希望進路の発見・実現に十分に役立っていると思われませんか。



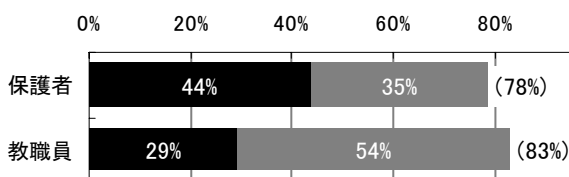
※回答留保を含む全回答数を分母として表示しました。

学年が進むにつれて肯定的な回答が着実に増えていることから、進路指導の成果は一定の評価を得ているようです。しかし、学年が下がると「わからない」の割合（1年生71%、2年生38%、3年生17%）が極端に高くなり、新入生を迎えた時点で明確な進路指導計画を展望とともに示す努力が不足したようです。

進路が半ば決まりつつある時期に実施する次回評価においては、更なる高い評価が見込まれそうですが、時期に応じた指導を段階性を持って明示し、都度の成果検証を徹底することで、更なる改善に取り組めます。

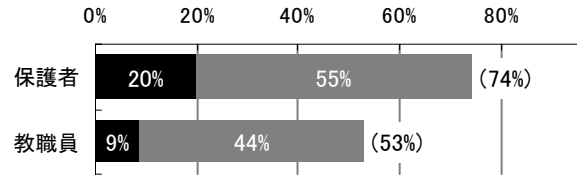
部活動、学校行事

Q 生徒の部活動に対して、クラブ顧問は熱心に指導していると思われませんか。



概ね良好な評価となりました。今後は、ホームページなどを通じて、各クラブの活動状況をしっかりとお伝えしていきたいと思えます。

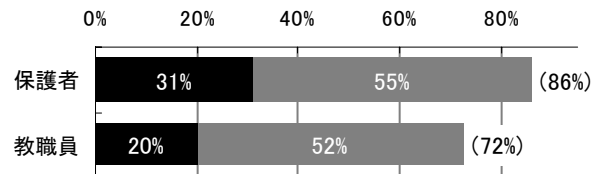
Q 学校行事が充実しており、行事についての様々な工夫や学校の姿勢が強く感じられますか。



保護者の方からは7割を超える肯定的評価を頂戴しましたが、共学校としての学校行事の整備を更に進めなければなりません。個々の行事に込めた教育的意図を今まで以上に明確にするのに加え、行事を経た生徒の成長・変化を視点とした効果測定にも取り組みます。

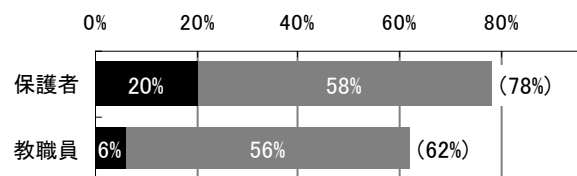
安全管理、情報発信など

Q 登校・下校時指導や緊急時メール連絡網など、生徒の安全に対する学校の取り組みは十分だと思われませんか。



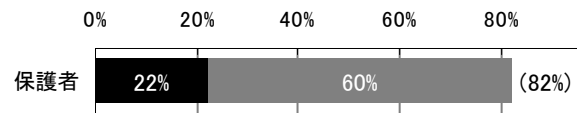
学校が取り組んできたことが一定の評価を受けたようです。今後も社会や地域の変化に対して関心を高め、新たに生まれてくる危険にも遅滞なく対応いたします。

Q 学校からの連絡文書や懇談会・授業公開などを通じて学校の様子は十分に伺えますか。



保護者の回答に比べると、教職員からの自己評価は低く、取り組みの実際を伝えるとともに込められた意図を説明する部分に不足があったとの認識でいます。

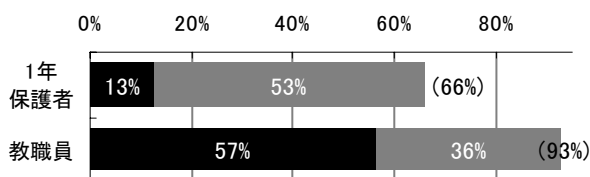
Q 学校は、保護者や地域の要望・意見に対して誠実に対応してくれますか。



数値としては一定の評価を頂きました。今まで以上

に、ご意見を傾聴するとともに不足のない説明を徹底することで、更なる評価改善に取り組みます。

Q 入学直後のオリエンテーション学習合宿を経て、高校生活や学習活動に対する姿勢に変化は見られましたか。

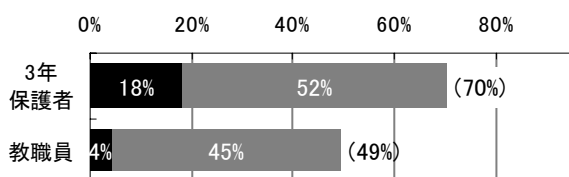


※保護者の回答は、直近で合宿を体験した1年生のみの集計です。

保護者の皆様からの評価が、想定より低く出ました。教室内での変化が、家庭で観察できる範囲にまで拡張していないようです。家庭学習や生活自律にも十分な成果を挙げられるよう、合宿プログラムの更なる改善を図る必要があります。また、生徒の参加感想など、お子様が見て、感じて、学んだことをご家庭にも今まで以上に伝えていきたいと思っております。

学校の教育目標

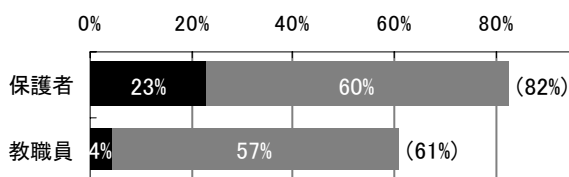
Q 保護者の目から見てお子様は、自分の将来と結びつけて今なすべきことを考えられるようになりましたか。



※3ヵ年を見通した指導の成果を見るため保護者は3年生のみ集計。

大阪高校では、「未来へそして世界へひらく自分を探そう」を目標に教育活動に取り組んできました。その指導成果を評価いただくための質問でしたが、在籍期間を半年ほど残した時期において肯定的な評価が70%という状態であり、年度後半の指導に更なる注力の必要を強く感じています。教員側でも不足を認知しており、入学時から段階的な中間目標を明確に定め、検証と修正を頻繁に行うよう体制の点検・整備を進めます。

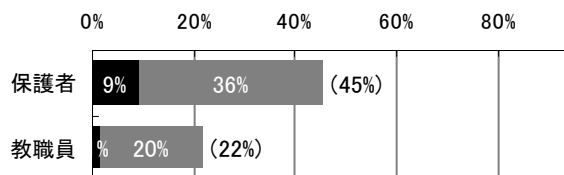
Q 保護者の目から見てお子様は、立場の異なる相手の意見にもちゃんと耳をかたむけるようになりましたか。



2 つめの学校目標である「国際化、共生化」についての教育成果を探る質問ですが、比較的良好な評価を

いただきました。3年生の保護者に限ると88%が肯定的にご回答されました。立場の異なる意見に耳を傾けることは共生に向けての第一歩に過ぎませんが、生徒は着実にその力を身に付けているようです。

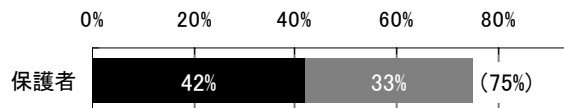
Q 保護者の目から見てお子様は、自分で立てた計画に沿って学習を進められるようになりましたか。



学校が掲げる三大目標の一つである「自学自習」の成果を尋ねる質問です。保護者の皆様からも大変厳しい評価を頂きましたが、教職員の問題意識も同様です。家庭学習時間調査の結果や、各学年教科からの課題付与状況を精査し、早急に対策を講じます。

ノート指導を通じた家庭学習の定型化や、授業で学んだ事柄を家庭学習で活用する場面を整備するための課題のあり方など、生徒の学びを手引きする指導を早期段階から整備することが大切と考えます。今回の評価機会には、全学年で現状を大きく改善した結果をお見せすべく、教科を中心として協議を急ぎます。

Q 進路希望や将来の職業、あるいは学校での様子などについて、家庭で話をすることはありますか。



未来へひらく自分を探すためには、ご家庭の支援、特に保護者と生徒の対話は欠かせません。この意味において家庭での活発な会話を促す材料と機会の提供は、学校に課せられた重要な仕事の一つです。今後は進路に関する情報発信や、学校の様子をお伝えする機能の強化を図り、会話のさらなる充実を学校としてもお手伝いしていこうと考えます。

育友会活動

Q 育友会(大阪高校保護者と教職員の会)の活動に関心をお持ちですか。

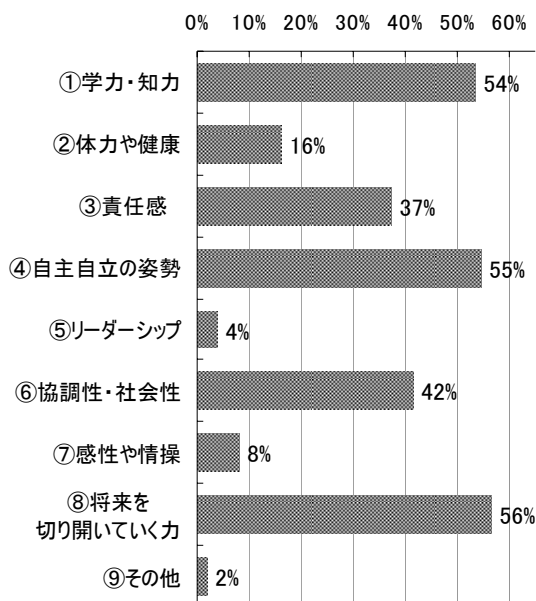
	内容を知っている	内容知らない	小計
関心がある	7%	42%	49%
関心がない	28%	23%	51%
小計	35%	65%	100%

活動に関心をお持ちの方に対して、活動内容を十分にお伝えできていなかったようです。情報の量と質を

高めることを第一義に育友会の魅力を伝えていきます。

教育観は保護者と合致

Q 今後、子どもに獲得させたい資質はどれですか。3つまで選んでご回答ください。

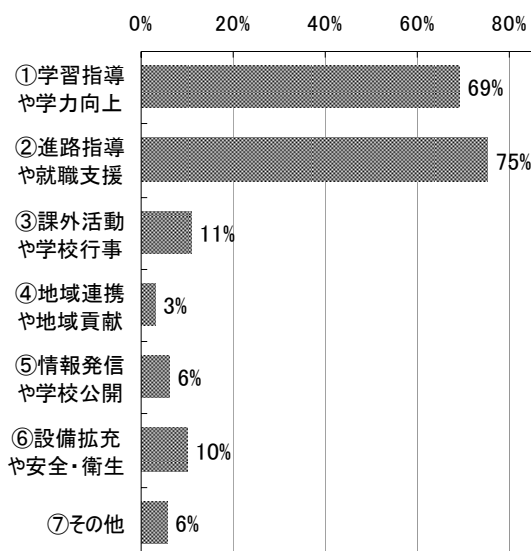


学校が力を入れてきた「学力・知力」に加えて、教育目標として掲げる「自主自立の姿勢」「協調性・社会性」「将来を切り開いていく力」に回答が集中しました。

学校と保護者の皆様とが、同じ方向性を持って子どもの教育に当たる認識上の基盤が確立しつつあると考えられ、大変に心強く思います。特に「学力の向上」は、入学年次が下がる毎に選択率が高まっており、学校としても更なる注力で応えていかねばなりません。

進路希望の実現を最優先

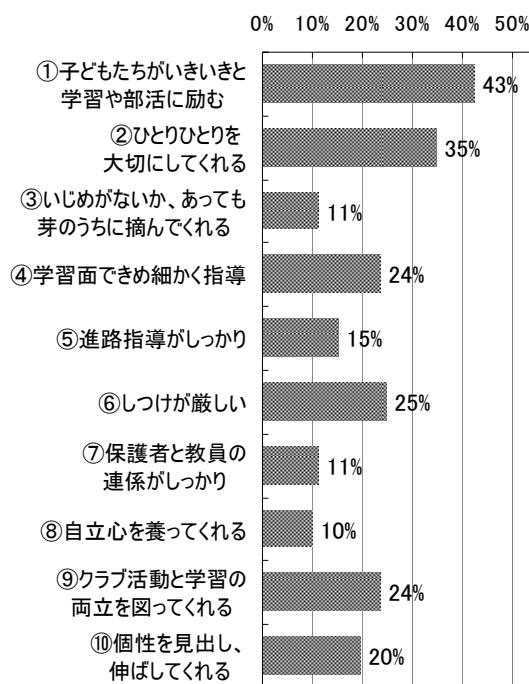
Q 今後、学校にさらなる充実を求めたいものは何ですか。2つまで選んでご回答ください。



ほとんどの回答が、「学習指導や学力向上」と「進路指導や就職支援」に集中しました。進路希望の実現に向けた支援こそが学校に向けられた要請と受け止め、この2領域の充実で最大限の資源を投入していきます。

学力向上と校是実現へ

Q 本校の特徴として次のどれが当てはまると思われますか。3つまで選んでご回答ください。



本校の特徴をデータから書き出すと、「厳しいしつけがなされるが、一方で子どもがいきいきと学校生活に励んでいる」、「一人ひとりを大切に、学習面できめ細かい指導がなされている」となりそうです。

学校として目指してきたものが、保護者の皆様にも正しく伝わっており、大いに励まされる思いですが、今回の結果に満足することなく、校是実現に向けて歩みを止めずに進みたいと思います。

なお、取り組みへの資源配分と保護者の皆様からのイメージとにやや大きな乖離があった「自立心の涵養」「進路指導」「個性の発掘と開発」についても、教員団の協議・検討を通じて、現況での指導における不足を洗い出し、具体的な行動指針を定めていきます。

大阪高校は今後も改革を続け、地域の期待に応える学校、在校生・卒業生が今以上に誇りに思える学校を目指します。今後ともご支援とご協力をお願いします。

本報告書へのご意見・ご質問は下記にて承ります。

TEL:06-6340-3031 FAX:06-6349-3719

保護者による学校評価アンケート担当: 副校長 岩本信久